

経営比較分析表（平成28年度決算）

埼玉県 東秩父村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	自治体職員 民間企業出身
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	該当数値なし	33.63	100.00	2,500

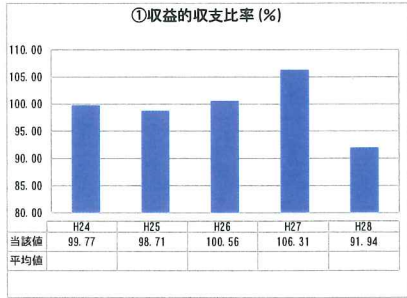
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
2,993	37.06	80.76
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
999	37.06	26.96

グラフ凡例

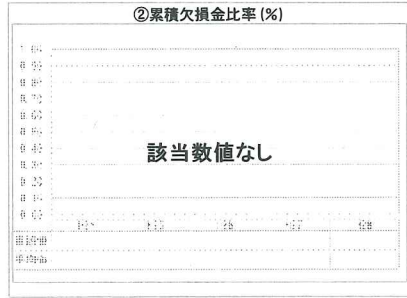
- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)

【】 平成28年度全国平均

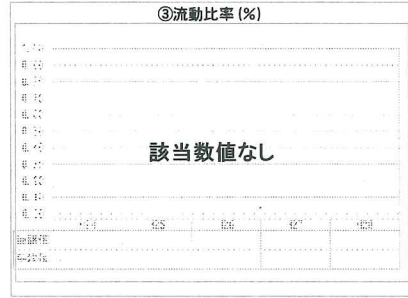
1. 経営の健全性・効率性



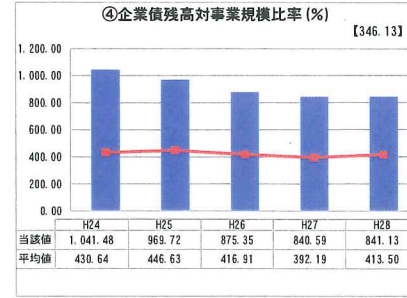
「単年度の収支」



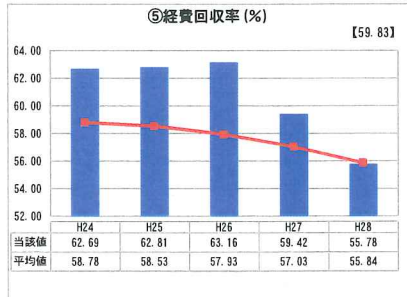
「累積欠損」



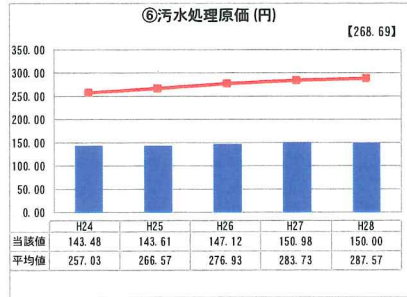
「支払能力」



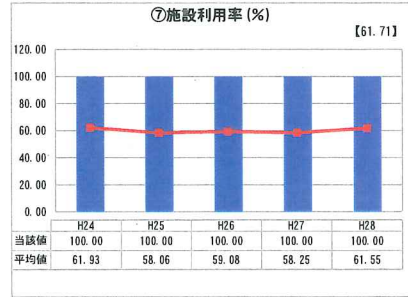
「債務残高」



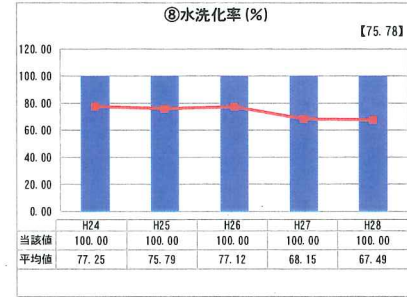
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

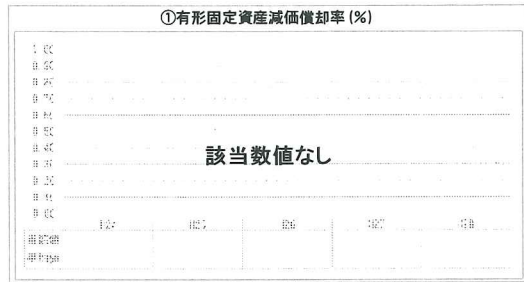


「施設の効率性」

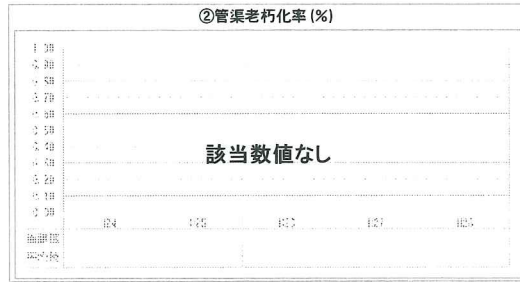


「使用料対象の捕捉」

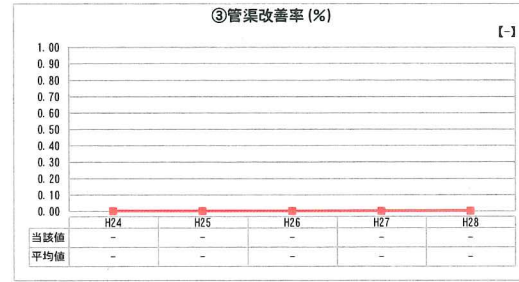
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成28年度は整備基数の減少により国庫補助補助要綱から外れたため、持ち出し分が増額したことにより、収益的収支比率の数値が前年度と比べて低い値となっている。
 企業債残高対事業規模比率は、他の類似団体と比較して大きくなっているが、東秩父村が市町村整備型の浄化槽事業を先駆けて実施してきたことによるものと思われる。
 経費回収率が大きく下がっている原因は、修繕工事件数が増えたことによるものである。
 施設利用率と水洗化率については、市町村整備事業のため、100%となっている。

2. 老朽化の状況について

該当なし

全体総括

維持管理費以外の経費は、一般会計繰入金で賄っている部分もあるが、使用料だけで賄えるものではないため、市町村整備事業としてはやむを得ないものと考えられる。
 今後の健全な運営に向けて、住民生活に負担の少ない範囲での使用料の値上げや維持管理費の低コスト化、簡易水道事業との統合や経営の広域化も視野に入れ、検討する必要があると思われる。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。